

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M314Y201	リハビリテーション概論 (Principle of Rehabilitation)	専門科目 臨床医工学コース 専門分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	前期	月・3	朝井 政治 内線： 7551 E-mail : ma-asai@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

「リハビリテーション」の概念、関係職種、対象者、内容等について解説する。これらを踏まえたうえで、各職種の専門性と他の職種との連携、現在の課題等について、講義、ならびに討議を行う。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 「リハビリテーション」の定義、歴史について説明できる	○	○	○		○	
2. 関連職種の役割を説明できる	○	○	○		○	
3. リハビリテーション分野の連携について説明できる	○	○	○	○	○	
4. 現在の課題と対策について、自分の考えを述べる事ができる	○	○	○			○

【授業の内容】

1	リハビリテーションの理念と目的
2	リハビリテーション対象者と各職種の関わり
3	リハビリテーションにかかわる専門職の役割と連携
4	ICFについて (1) : 定義、評価方法の解説
5	ICFについて (2) : 演習
6	リハビリテーションの実際 (1) 医療分野
7	リハビリテーションの実際 (2) 保健・福祉分野、地域・予防分野
8	様々な福祉用具と介助法について
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A : 知識の定着・確認		グループディスカッションをとおして、 様々な意見をまとめ、発表する。 具体的な事例を提示する
B : 意見の表現・交換	○	
C : 応用志向		
D : 知識の活用・創造	○	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	自分の目指す職業の業務、活躍する分野などについて確認しておくこと (1 時間)。
事後学修	講義内容の復習、グループディスカッションや課題への取り組み (10 時間)。

【教科書】

田中栄 監修 日本医師会 編 リハビリテーション診療 update メジカルレビュー社 2023 ISBN 9784758317894
天満和人ら 編集、セラピストのための概説リハビリテーション (第2版) 文光堂、2018

【参考書】

天満和人ら 編集、セラピストのための概説リハビリテーション (第2版) 文光堂、2018 ISBN 9784830645648
馬場元毅 著、絵で見る 脳と神経 (第4版) 医学書院、2017 ISBN 9784260027830

【成績評価方法及び評価の割合】						
評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	
課題レポート・学修成果物	80%	○	○	○	○	
グループ討議への参加状況	20%	○	○	○	○	
【注意事項】 全開講回数の 2/3 以上の出席がない場合には、評価の対象から除外する。						
【備考】 なし						
教員の実務経験の有無	○					
教員の実務経験	理学療法士					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無						
教員以外の指導に関わる実務経験者						
実務経験をいかした教育内容	リハビリテーション分野での業務経験を活かし模擬症例にて、事例を通じた討議を行う					
授業形態						